



参議院議員 全国比例区

九州男 大島くすお



国会事務所

〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館910号室

電話03-6550-0910

kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい

<http://kusuo-o.net/>



チルドレン ファースト

貧困と体罰から守る

子どもの貧困解消と体罰撲滅をめざす取り組み

私は、子どもの貧困の解消、体罰の撲滅、成長・教育の機会均等を図ることが重要であると考えています。

子どもの貧困

日本の子どもの貧困率はOECD加盟国の中でも水準が高く、特に一人親世帯の貧困率は30カ国中最下位です。

こうした状況の改善が必要であるにもかかわらず、政府による生活保護費の切り下げで、子どもの貧困率がさらに悪化するとの不安も広がっています。

貧困対策法案

そうした中、民主党は「子どもの貧困対策法案」を提出しました。この法案は、子どもの

貧困に関する指標を把握し、子どもの貧困率削減の数値目標を定め、うえて、目標実現のための経済的・教育的支援を講ずる義務を国等に課す法律の制定を目指す



内容となっています。

本法案では、政府に子どもの貧困対策を丸投げするのではなく、法律で数値目標を設定することによって子どもの貧困対策を推進していくことが明確に示されています。

子どもたちが等しく成長できる社会をめざして、本法案の成立に尽力して参ります。

体罰防止法案

学校等で繰り返される体罰についても一定の法律が必要です。

現在、私は「体罰等の防止に関する法律」の制定に向けた取り組みを行っており、学習塾を運営したことがあ

り、子どもたちを育む主体は学校などの公教育の場だけではなく、学習塾やスポーツクラブなど、地域のあらゆる先生が対象となるべきであると考えております。

やむことがない体罰を法律面から抑制し、子どもたちを守り育む社会をめざして議論を進めて参ります。

次世代を見据えた政策

日本の最大の政策課題は少子高齢化です。

少子化をくい止め、生産年齢人口を増やし、高齢者雇用を推進し、高齢者を守っていく。

まさにこうした社会構造としていかなくはなりません。

私は、この課題を解決するための突破口である「チルドレンファースト」に焦点を当て、今後

大島くすおプロフィール 昭和36年6月11日福岡県直方(のおがた)市生まれ

昭和59年3月日本大学法学部卒 平成3年4月直方市議会議員当選(3期12年)

2度の衆議院総選挙で惜敗するものの、平成19年7月参議院選挙で初当選

党副幹事長・政調副会長など歴任。家族は妻と2男。趣味は旅行・温泉・テニス・ウォーキング

名前の由来 高知県のいところ「土佐男(とさお)」なので、父が「九州男(くすお)」と名付けた

